

平成24年度 第1回新潟市環境影響評価審査会
議事概要

- 日時 平成24年12月27日(木) 午前9時30分から
- 会場 新潟市役所 本館6階 第3委員会室
- 出席者 別紙名簿参照

<議事>	
会長	新潟港西港区公有水面埋立事業の環境影響評価準備書について、事務局より説明をお願いします。
事務局/ 事業者	【資料1-1及び資料1-2の説明】 【資料1-3及び1-4、1-5の説明】
会長	ただいまの準備書に関する説明についてご意見・ご質問はありませんか。
委員	排砂管は工事終了後、取り外されると思いますが、どの辺りにどの位の大きさのものが設置されるのか教えてください。
事業者	西防波堤のもとづけから防波堤沿いに行く部分については、海底に敷設します。そこから航路を横断する部分については、埋設管ということで、3メートル程掘って管を敷設します。そこから今度対岸に渡り、海岸護岸の外側に一部隙間があるので、そこを中心に陸上に敷設します。途中から海水浴場に影響のないようにまた海底に埋め込み、そこから空港までいきます。 今現在検討している大きさは800ミリメートルくらいの管を設置する計画です。
会長	他にありませんか。
委員	敷設する管は植物の問題としては、避けて通るかたちを考えているのですか。
事業者	避けて通るというより基本的に現在ライン上にはないと認識しています。 しかし、工事中に作業員が踏む可能性もあるので、そこは明確にします。今回確認された種が、そこでしかないものではないと認識しておりますが、ただ、今回の調査範囲内では見つからなかったということなので、そこについては確認します。 工事が認められて事業実施するまでの間に枯れてしまう場合もありますが、私どもとしては、そういった対応をさせていただきます。
委員	埋め立てした後、覆土されて、緑化する計画のようですが、コアジサシが営巣地に

する可能性があり、緑化すると鳥が集まりバードストライクの問題が出てくる可能性も高まります。その辺はむしろ防砂シート等で緑化させない仕組みの検討も必要と感じます。バードストライクの関係と緑化についてどのようにお考えか教えてください。

事業者

今回準備書をまとめるにあたり、新潟空港事務所へいき確認しております。事業の中では、予測評価として、空港の管理上の話でもあり、空港の現況からバードストライク対策としては、場内を監視していくとしています。

私どもとしては、緑化というより飛散防止的な位置づけで考えており、コアジサシが寄り付かない色合いもあるということなので、そこについてはこれからあまり影響のないよう整備をする必要があると考えております。

また、やぶったまになると、逆にコアジサシが来ないということも聞いていますので、どういったものを植えて飛散防止できるのか、あるいは植生ではなく先程お話にあったようなシートがいいのかについては今後検討を重ねていきたいと考えております。

会長

ありがとうございました。他にありませんか。

委員

先程の質問に関連する排砂管の敷設ですが、信濃川の河口部から沿岸部にかけて、北前船をはじめとする沈没船がある可能性があり、排砂管の深さは3メートルということですが、工法がどのようになっているか教えてください。

事業者

グラブ浚渫船という船のグラブで掘る計画をしています。信濃川の横断部についてはもともと浚渫を実施しているので、既往の浚渫深度ぐらいまでは過去に掘った経緯のある場所と思っております。

海水浴場については、調べてみないとわかりませんが、グラブで掘りますが、空港が出来上がった後に新潟市で養浜されているので、既往で深く掘っている部分なのかと思っております。

昨年度の方法書の中でも埋蔵文化財の関係でご指摘されたことは把握しておりますので、埋蔵文化財を確認するためにというのはなかなか難しいですが、工事の計画等をお話しし、立会いのもと実施するなど、相談させていただきたいと考えております。

会長

他にありませんか。

委員

信濃川の河口付近の土砂浚渫ということで、現況がどの程度放射性物質の蓄積があるかの調査と、配送した場合の影響の予測調査の予定はありますか。

事業者

放射能の調査については今年度2月に実施しており、食品衛生法100ベクレル基準値以下ですので、放射能の影響はないものと思っております。

今年 2 月に浚渫区域を調査し確認しております。

委員

調査結果は出ているのですか。

浚渫土砂を食品の基準で評価するということは、確立された評価手法なのですか。

事業者

基準値はないという認識をしているので、念のため食品衛生法に則って 100 ベクレル以下であれば特に問題はないと認識しておりまして、今年 2 月の調査でセシウムが出ているのですが、それにしても合計しても 100 ベクレル以下でしたので、特に問題はないのではないかと感じております。

委員

状態はわかりました。ただそれを巻き上げることや、濁りや魚介類に影響があることなどは今までに無かったことなので、その辺り今後進める中で当然不安の声があがってくる可能性が高いのではないかと、信濃川の底質の予測も今後の動向次第ですが、この辺りご配慮いただきたいと思います。

会長

それでは、まだご質問もあるかと思いますが、あとは現地の新しい浚渫土砂の集積場所視察の道中でご質問いただきたいと思います。

続きまして、次の議事に移りたいと思います。新潟市環境影響評価条例の改訂方針（案）に対する意見募集について、事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料 2 - 1 及び資料 2 - 3、資料 2 - 4 の説明】

会長

ありがとうございました。皆さんからご意見いただきたいのですが、今後の手続き上の問題についてご意見ありませんか。

無いようなので、あとは事務局へお問い合わせやご質問いただきたいと思います。

それでは事務局へお返しします。